

国民年金保険料免除・納付猶予申請書

提出用

この申請書は、複数の「免除等区分」を同時に申請することができます。

申請しない免除等区分は「×」や「/」等で抹消してください。

免除等区分	全額免除	納付猶予 (30歳未満に限る)	4分の1納付 (4分の3免除)	半額納付 (半額免除)	4分の3納付 (4分の1免除)
-------	------	--------------------	--------------------	----------------	--------------------

※複数の「免除等区分」を申請された場合は、全額免除、納付猶予、4分の1納付、半額納付、4分の3納付の順序で審査します。

納付猶予(30歳未満に限る)の審査順序の変更を希望する場合は、以下のA~Cのいずれかを「○」で囲んでください。

A. 4分の1納付の次に納付猶予を審査	B. 半額納付の次に納付猶予を審査	C. 4分の3納付の次に納付猶予を審査
---------------------	-------------------	---------------------

(1)基礎年金番号 ⁰¹				(2)生年月日 ⁰²				納付猶予の審査順序に希望がある場合には○で囲んでください。 例) 全額免除、4分の1納付、納付猶予、半額納付、4分の3納付の順に審査を希望する場合、Aを○で囲んでください。									
1234567890	5	和	年	5	11	2	日										
被保険者(申請者)氏名				配偶者(夫または妻)氏名				世帯主氏名									
ネンキン 年金 イチロウ 一郎				ネンキン 年金 サトミ さとみ				ネンキン 年金 タロウ 太郎									
★前年所得				★前年における所得税・障害者控除・寡婦控除				* (5) 06 承認期間(始期)		* (6) 07 承認期間(終期)		* (7) 法免消滅年月日		* (8) 09 特例認定区分		* (9) 10 継続申請申出区分	
A. 被保険者 B. 配偶者 C. 世帯主				1. 課税(障害者控除有) 2. 課税(障害者控除有)				7. 平成		7. 平成		7. 平成					

(継続申請申出区分) 0. 継続申請希望無し 1. 継続申請希望有り

確認欄	市町村確認欄		
	A. 被保険者分	B. 配偶者分	C. 世帯主分
* 政令で定める額	円	円	円
* 地方税法上の障害者・寡婦	(1-A) ④ 1. 障害者 2. 寡婦	(4-A) ⑤ 1. 障害者 2. 寡婦	(7-A) ⑥ 1. 障害者 2. 寡婦
* 控除対象	(1-B) ⑦ 人	(4-B) ⑧ 人	(7-B) ⑨ 人
控除対象配偶者及び扶養親族数	(1-C) ⑩ 人	(4-C) ⑪ 人	(7-C) ⑫ 人
老人控除対象配偶者及び老人数	(1-D) ⑬ 人	(4-D) ⑭ 人	(7-D) ⑮ 人
特定扶養親族数	(2-A) ⑳ 円	(5-A) ㉑ 円	(8-A) ㉒ 円
* 前年の所得額 I	(2-H) ㉓ 円	(5-H) ㉔ 円	(8-H) ㉕ 円
* 純損失及び雑損失 III	(2-B) ㉖ 円	(5-B) ㉗ 円	(8-B) ㉘ 円
① 雑損	(2-C) ㉙ 円	(5-C) ㉚ 円	(8-C) ㉛ 円
② 医療費	(2-D) ㉜ 円	(5-D) ㉝ 円	(8-D) ㉞ 円
③ 社会保険料	(2-E) ㉞ 円	(5-E) ㉟ 円	(8-E) ㊱ 円
④ 小規模企業共済等掛金	(2-F) ㊱ 円	(5-F) ㊲ 円	(8-F) ㊳ 円
* ⑤ 配偶者特別	(2-G) ㊲ 円	(5-G) ㊳ 円	(8-G) ㊴ 円
⑥ 地方税法附則第6条第4項の免除に係る所得額	(3-A) ㊴ 人	(6-A) ㊵ 人	(9-A) ㊶ 人
障害者(特別障害者を除く)の合計数(本人、控除対象配偶者及び扶養親族)	(3-B) ㊵ 人	(6-B) ㊶ 人	(9-B) ㊷ 人
特別障害者の合計数(本人、控除対象配偶者及び扶養親族)	(3-C) ㊶ 1. 該当する(注3)該当する場合のみ○をつけて下さい	(6-C) ㊷ 1. 該当する	(9-C) ㊸ 1. 該当する
寡婦又は寡夫	(3-D) ㊷ 1. 該当する	(6-D) ㊸ 1. 該当する	(9-D) ㊹ 1. 該当する
寡婦特例	(3-E) ㊸ 1. 該当する	(6-E) ㊹ 1. 該当する	(9-E) ㊺ 1. 該当する
勤労学生			
控除の合計額 II	円	円	円
* 控除後の所得額 I-II-III (一部免除申請)	円	円	円
* 特例認定区分 (注) どちらかに該当する場合のみ○をつけて下さい	㊹ 1. 失業者 2. 被災者	(6-G) ㊺ 1. 失業者 2. 被災者	(9-G) ㊻ 1. 失業者 2. 被災者
* 天災を事由とした場合の意見			
備考欄	A. 被保険者 平成 年 月 日 B. 配偶者 平成 年 月 日 C. 世帯主 平成 年 月 日		

承認された全額免除又は納付猶予を翌年度以降も引き続き希望する場合には、「はい」を○で囲んでください。○の記入がない場合は、「いいえ」を選択したものとみなします。※この申請書であらかじめ希望を明記することにより、翌年度以降あらためて申請を行う必要はありません。ただし、失業・倒産・事業の廃止など所得要件以外の理由による申請の場合は継続申請の対象にはなりません。

上記のとおり免除・納付猶予を申請します。この申請に必要な所得情報に関する書類の添付等について市区町村に委託します。

なお、全額免除または納付猶予が承認された場合は、翌年度以降も全額免除または納付猶予を申請することを希望します。その場合には当該申請に必要な所得情報の確認について、社会保険事務所に委託します。 ★ はい・いいえ

被保険者住所 東京都 杉並区 高井戸西3-5-24 平成 19年 8月15日

被保険者氏名 年金 一郎

社会保険事務所長 あて

電話 03-3333-3333

本人が自ら署名する場合は、押印は不要です